

# 高梁市の取り組みについて

- ・生活支援体制整備事業・・・・・・・・・・9ページ  
生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）  
いきいき生活サポート事業
- ・通所型サービスB・・・・・・・・・・16ページ  
もくもく・DAY（巨瀬2020）
- ・介護支援専門員研修会・・・・・・・・・・22ページ
- ・元気なからだづくり隊活動支援・・・・24ページ
- ・通所付添サポート事業・・・・・・・・・・29ページ

# 生活支援コーディネーター の活動について

---

社会福祉法人高梁市社会福祉協議会 地域福祉課

# 生活支援コーディネーターとは??

地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みの一環として「地域住民が住み慣れた地域で自分らしく暮らす」ための環境整備を推進するため、**市内の小学区を単位として生活支援コーディネーターを配置し、地域特性に応じた活動を展開する。**



○**地域の状況・実態を把握（地域課題・ニーズ等）**

⇒**地域の実状に合わせた活動を推進。**

※あくまでも**住民主体**の活動を進める！

# 生活支援コーディネーターの紹介



- ① 村上 小代子
- ② 高梁地区  
巨瀬地区  
宇治地区  
川上地区
- ③ 吊るし柿



- ① 石村 直希
- ② 津川地区  
中井地区  
高倉地区  
備中地区
- ③ 妻の手料理



- ① 杉安 文月
- ② 玉川地区  
落合地区  
成羽地区
- ③ けんびき焼き



- ① 田村 安祐美
- ② 川面地区  
松原地区  
有漢地区
- ③ だし巻き玉子



- ① 名前
- ② 担当地区
- ③ 好きな食べ物

# 生活支援コーディネーターの関わり（活動実績）

地域・住民ニーズ・地域課題 等	SCの関わり	結果
<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物ができない</li> <li>・食べ物に困る</li> <li>・（買物に行く）移動手段がない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動販売車の実態把握</li> <li>・既存の移動販売車活用</li> <li>・新規の移動販売車開拓</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マルナカ北房店の導入決定（現在4地区で実施中）</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場（サロン・ミニデイ）へ行く足がない。</li> <li>・通いの場をしても参加者が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場への誘い出し事業の検討</li> <li>・地域の実情に合わせた導入検討</li> <li>・導入支援、情報提供</li> <li>・養成講習への受講支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所付添サポート事業の導入（現在4地区で実施中） ⇒今後、他地区でも協議中…</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場のあり方を検討したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通いの場についての情報提供</li> <li>・しくみの検討</li> <li>・会議への参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出張カフェの実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で人とのつながりが薄れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他地区の活動の情報提供</li> <li>・事業実施のしくみについて協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おうち時間プロジェクト実施</li> <li>・友愛訪問</li> <li>・手作りマスク配布</li> </ul>

# いきいき生活サポート事業

◆ボランティア養成講座 全5回開催

期間:令和3年1月19日(水)～ 2月16日(水)

◆修了者 16名

◆修了後 ボランティア登録された方 9名

## ○活動内容

掃除、洗濯、調理、買物、ごみ出し、外出時の付添、季節衣類の  
出し入れ、注文表の記入補助、話し相手 等

※実際の活動はマッチングにより決定

## ○活動エリア

・旧高梁市内 5人、成羽地域 3人、備中地域 1人

## ○活動状況

・旧高梁市内 1件

【活動内容】ごみ出し(週1回)

ごみ出しとヘルパーの曜日が合わず、ボランティアの利用につながった。

ボランティアの声:活動にはやりがいを感じている。もう一人くらいなら担当利用者が増えてもいいという気持ちもある。ただ、拘束される時間が増えることには負担感もある。



今後の新たなボランティアの活動の場



いきいき生活サポーター

※在宅高齢者の生活支援を行う有償ボランティア

## <講座の内容> (令和4年度)

	日 時	内 容
①	10月13日 (木) 13:30~15:30	◇高梁市の高齢者の現状と介護保険制度 講師：高梁市地域包括支援センター
②	10月20日 (木) 13:30~15:30	◇地域福祉の取り組み 講師：高梁市社会福祉協議会
③	10月27日 (木) 13:30~15:30	◇家事援助・コミュニケーションの方法 講師：順正高等看護福祉専門学校 介護福祉学科 専任教員 ◇高齢者の権利擁護・個人情報保護 講師：高梁市権利擁護センター
④	11月10日 (木) 13:30~15:30	◇認知症サポーター養成講座 講師：キャラバンメイト (認知症サポーター養成講座の講師)
⑤	11月17日 (木) 13:30~15:30	◇高齢者の心身の変化と介護予防 講師：高梁市地域包括支援センター ◇介護予防体操 講師：健康運動指導士

### <養成講座参加者募集の広報>

広報紙、市ホームページ掲載、チラシ配布(民生委員会、愛育・栄養委員会、元気なからだづくり隊、その他会合、研修会等)

社会福祉協議会登録ボランティア(個人・団体)への周知 など

# 新たな通いの場の形

介護サービス事業者に依存しない通いの場として、地域の方々が主体となって運営する通いの場を作ることができます。

通所型サービス B

(住民主体による運営)

⇒市から B 型の補助を受ける事業

# 通所型サービス B (住民主体による運営)

- ①住民主体による多様な支援（体操、運動、趣味活動、交流、会食）等
  - ②週1回以上、1日3時間以上の開催
- ⇒ **コミュニティカフェに体操を加えるイメージ**

サービス  
内容



対象者

○利用登録者の半分以上が要支援者1・2、事業対象者

運営費用

市町村の一部補助（助成）

基準

個人情報の保護等の最低限の基準、**専門職は不要**

サービス 提供者

ボランティア主体（有償、無償ボランティア）

# 通所型サービスB(巨瀬町 もくもく・DAY)

## 高梁市巨瀬町

令和2年10月1日出発式(この日から本格稼働)

- ・総合事業の住民主体の通所型サービスB(第1号事業)において、通所付添サポートを一体的に行う。
- ・令和2年3月末の巨瀬デイサービスセンター(介護保険サービス)閉所に伴い、週1回の新しい通いの場“もくもく・DAY”を開設
- ・自力では参加できない人も参加できるように通所付添サポート事業を行う。

○通所付添サポーター 20人(男性16人、女性4人)→2人1組で活動。

○使用車両 2台 民間自動車整備会社と社協が車両の提供協力

○サポーターは有償ボランティア

○通所付添サポートの利用料 1日100円



もくもく・DAYは、巨瀬地域の住民有志の団体「巨瀬町通いの場2020」が運営する通いの場です。

スタッフは「付添班」「運営班」「食事班」に役割を分担して活動しています。

### 《付添班》(通所付添サポーター)

一人での移動が困難な利用者に対して、2人一組で自宅から会場まで付添い、通いの場への参加を支援します。

《運営班》 企画や準備、血压等の健康チェック、体操の見守り・声掛け、湯茶の準備等、運営全般にかかわります。

《食事班》 食材の買い出し、調理、配膳等、昼食の提供を行います。

# 通所型サービスBに取り組むメリット

①困りごとを相談できる場や機会が増え、気持ちの負担が軽くなる。

②同じ地域で住民のつながりができ、お互いに支え合う意識が育つ。

③地域の中でつながっている実感が生まれ、安心感につながる地域で生活が維持できる。

# 通所型サービスB もくもく・DAY

# 巨瀬町通いの場2020



いきいき百歳体操



# もくもくDAYのスケジュール

時 間	内 容	担 当
9時～	通所付添サポーターによる迎え（希望者のみ）	付添班
10時～	健康チェック（自分で血圧、脈拍、体温測定） お茶、おしゃべり	運営班
11時～	いきいき百歳体操（おもりをつけて筋力トレーニング）	運営班
12時～	会食・休憩	食事班
13時～	趣味活動・ゲーム・健康講話 等	運営班
14時～	解散、通所付添サポーターによる送り（希望者のみ）	付添班

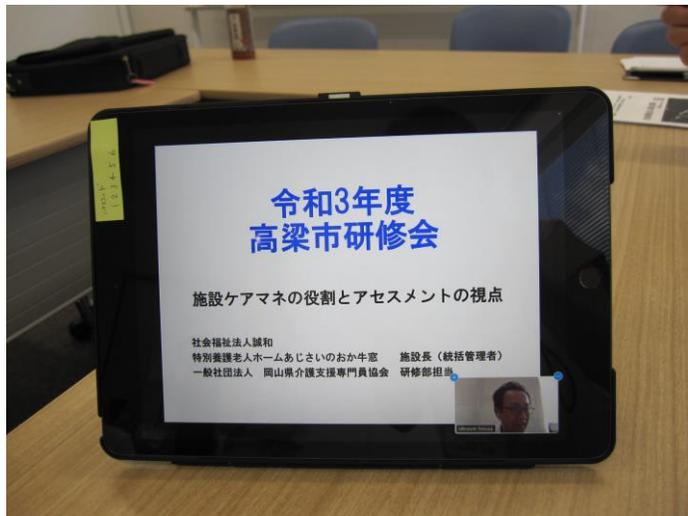
# 介護支援専門員研修会

重点目標: 高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活を送ることができるよう、専門的知識の習得及び自立支援に資するケアマネジメントの視点を磨く

オンライン開催

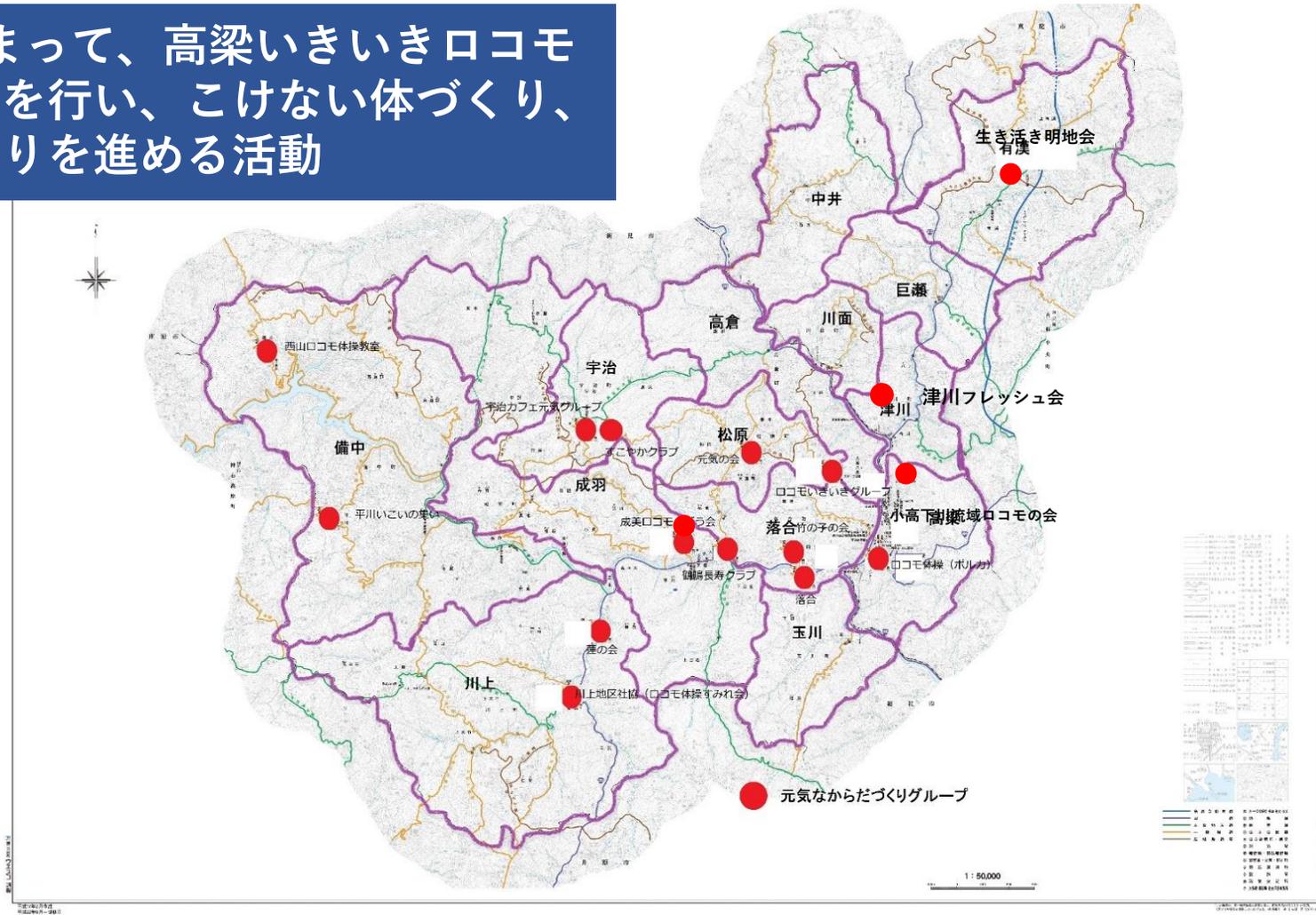
	月日・時間	内容	講師
第1回目	9月3日(金) 13:30~16:00 対象: 施設・居宅ケアマネ	テーマ「介護支援専門員が直面しやすい倫理的な課題やハラスメント対策について」 (テキスト「倫理のとびら」)  テーマ「高齢者虐待の防止 ~虐待の早期発見と大切な視点」 講義・個人ワーク <b>31名</b>	・岡山県介護支援専門員協会 倫理綱領委員会 守屋真季 氏 *岡山県介護支援専門員協会へ派遣依頼 ・地域包括支援センター
第2回目	10月1日(金) 13:30~16:00 対象: 施設ケアマネ	テーマ「施設ケアマネの役割とアセスメントの視点について」  講義・グループワーク <b>22名</b>	・岡山県介護支援専門員協会 理事 三石哲也 氏 *岡山県介護支援専門員協会へ派遣依頼
第3回目	12月9日(木) 13:30~16:00 対象: 施設・居宅ケアマネ	テーマ「在宅生活における服薬管理と支援について」  情報提供・「高梁市介護予防ケアマネジメント基本方針」 ・「在宅生活支援・通いの場ボランティア講座」 講義・グループワーク <b>30名</b>	・岡山県薬剤師会高梁支部 クオール薬局 甲×慎二氏 ・地域包括支援センター

# 介護支援専門員研修会



# 高梁市元気なからだづくり隊活動

週1回集まって、高梁いきいきロコモ  
予防体操を行い、こけない体づくり、  
仲間づくりを進める活動



# 元気なからだづくり隊活動支援

## 元気なからだづくり隊

65歳以上の方が3人以上集まって、介護予防となる取り組みを1時間程度、週1回以上行う住民主体の活動  
歩いていける距離にあることが理想。

### ○元気なからだづくり隊体操マイスター養成講座

令和3年10月28日(木)開催 修了者6名 ⇒市内42名

### ○元気なからだづくり隊交流会 令和3年度新型コロナウイルス感染者増加の 影響から中止

### ○活動経費の補助

補助確定7件 (会場使用料、消耗品(感染対策用品含む))

### ○体力測定の実施

12グループ 119人実施

## 令和4年度

事業開始から5年経過。体力測定の数値を活用して事業評価を行う。

12月に開催を予定している交流会の中で、評価について紹介予定



# 元気なからだづくり隊



# 元気なからだづくり隊交流会

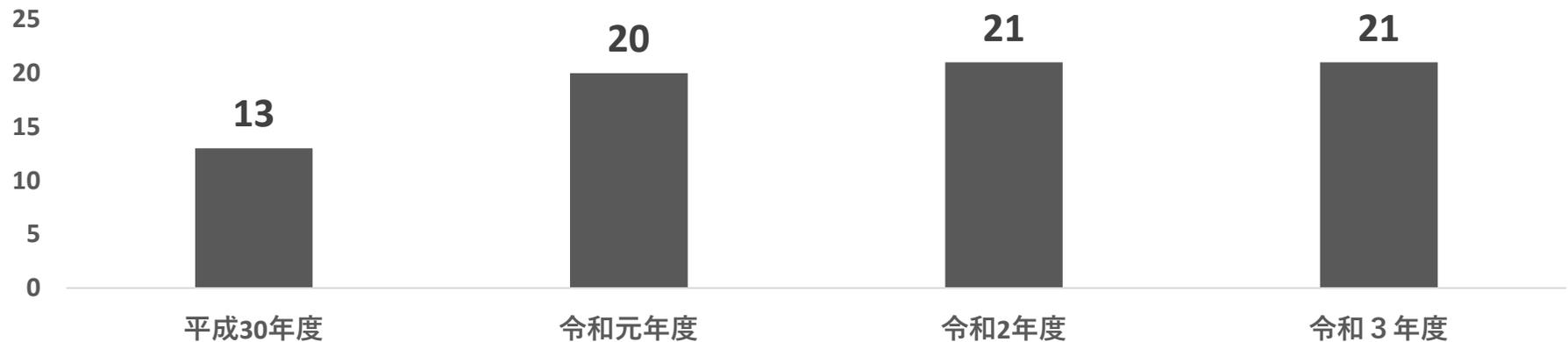
# 元気なからだづくり隊体操マスター養成講座



## 体操マスターの心得

- 一、体操の意義を理解し、安全に体操のポイントの声掛けをする
- 二、体操未経験者を通いの場に誘い、週一回の体操をともに楽しむ
- 三、体力測定のお手伝いをする

## グループ数



## 課題

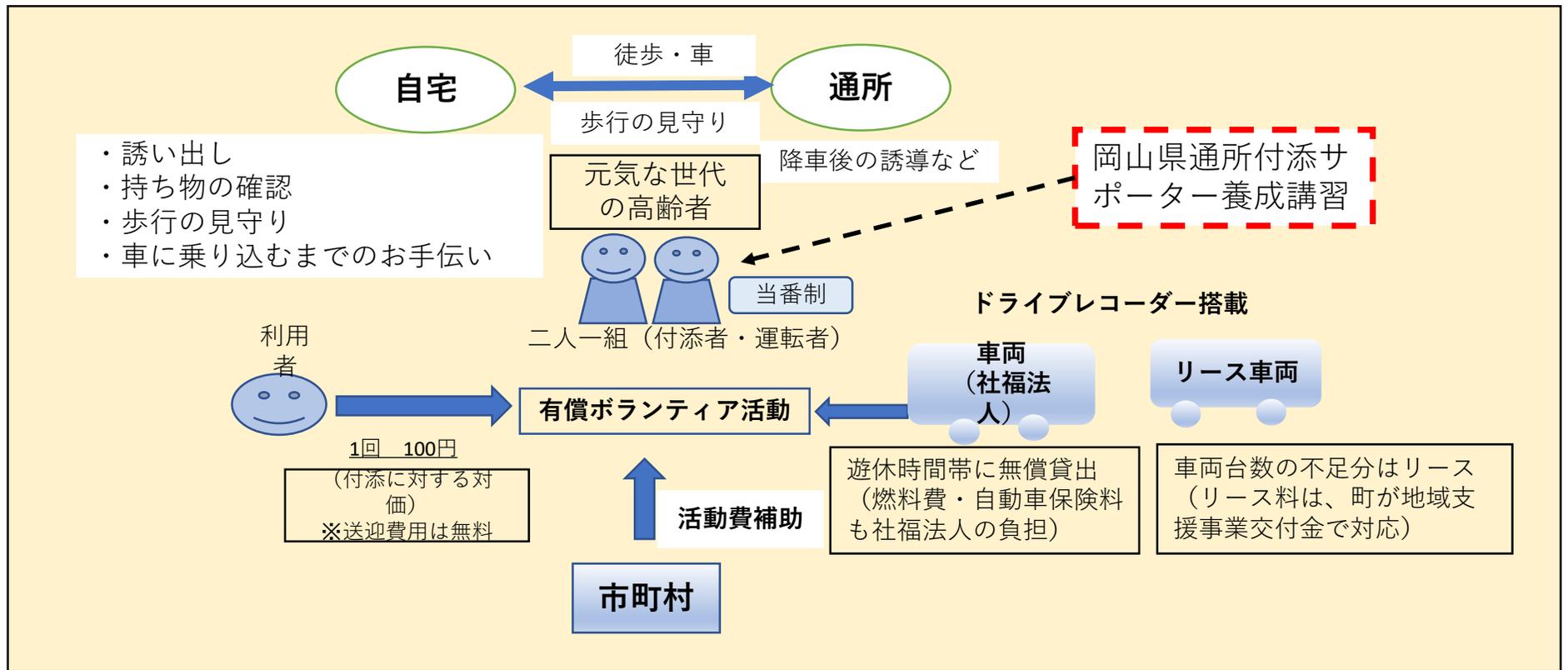
グループ数が増えない・・・ソフト面、ハード面、さまざまな要因

- ・気楽に集まりたいけど、市がかかかわると堅苦しくなる。まずは気楽に集まることを始めたい。
- ・近くの公会堂を活用したいがエアコン、水洗便所など何もない。暑い中、寒い中命がけで公会堂に通うわけにもいかない。
- ・市民センターは環境が整っているが、遠くなるので歩いていくことができない。
- ・自宅や離れでの開催となると、遠慮が強い地域性が邪魔をする。
- ・地域の人が減り、声をかける人がいない⇒新たな参加者が増えない。

# 通所付添サポート事業

## 新たな通所参加のしくみ

通所付添サポーターは、住民互助の付添活動



# 通所付添サポート事業

・住民互助による【通所付添活動】の目的

自力で外出が難しくなった人が、地域との交わりが途絶えてしまわないように住民同士で支援していく

- ☆通所付添サポーター 2人1組
- ☆使用車両 社会福祉法人又は団体の車両
- ☆ボランティア活動 有償（運転手は無償）
- ☆利用者負担 有り

岡山県通所付添  
サポーター養成講習

通所付添サポーター

2人  
1組

運営準備・運行計画  
誘い出し・携帯品確認  
乗降介助・会場まで付添



## 通いの場

定期的に介護予防活動を行っている場

(ミニデイ・認知症カフェ  
元気なからだづくり隊グループ活動  
ロコモ予防体操など)

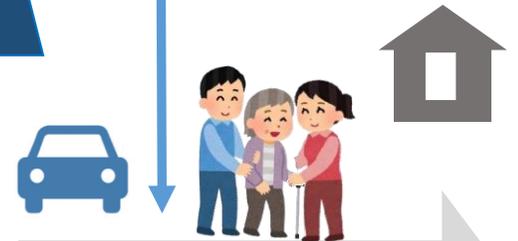


二人一組のボランティア  
付添者（有償）・運転者（無償）



岡山県サポーター養成講座講習を受講

運行用車両  
保険加入のため 要登録



乗降介助  
自宅玄関まで付添

利用料：付添いに対する単価



# 『通所付添サポート事業 実施団体』

- 巨瀬「巨瀬町通いの場2020」
- 落合「あいあいサポート隊」
- 川上「かわかみお出かけ隊」
- 川面「ソルティール川面」



## 令和4年度 通所付添サポート事業検討地域

- 津川地区：ミニデイサービスの付添支援
- 中井地区： //
- 松原地区： //
- 有漢地域：新たな通いの場の設置と通所付添



# 巨瀬町通いの場 2020



通いの場  
もくもくDAY  
への通所付添



落合ミニデイ  
サービスへの  
通所付添



あいあいサポート隊

# かわかみお出かけ隊



フランス語で  
「おでかけ」

## ソルティール川面



川面ミニデイ  
サービスへの  
通所付添

認知症カフェ  
かわかみ茶坊  
への通所付添



## 現 状(通所付添サポーターの声)

( 通所付添の活動団体のミーティングや生活支援コーディネーターを通じて上がった声 )

### ○やりがい

- ・仲間の存在は心強い。不安や嬉しかったことを仲間と共有している。
- ・利用者やその家族の笑顔や感謝は嬉しい。
- ・利用者、仲間の変化に気づけるし、情報交換の場になっている。
- ・足がないから参加できないという人が減り、外出機会、交流機会が増えた。

### ○課題

- ・女性ボランティアが少ない。乗降時など男性ボランティアによる女性利用者のサポートが課題。
- ・送迎の道が狭い、急勾配、だが貸出車両の時間、送迎時間が限られているので、効率を考えると多人数の大きい車になってしまう。
- ・スタッフの高齢化が進んでいていつまでできるかわからない。
- ・通いの場と併せて独自に活動しているが、地区社協との連携方法がわからない。

### ○立ち上げ検討中、準備中の方たちの声

- ・通いの場への足がない人などに誘い出しの声掛けがしたい。参加者を増やしたい。
- ・養成講座は年齢制限(75歳)があり、岡山の会場に行かなければならない。地域開催があるといい。
- ・誘い出しを目的としている事業だが、講習内容は運転に関することが多いので、違和感がある。
- ・複数の通いの場(ミニデイ、認知症カフェなど)と連携したいが、話の進め方がわからない。